

外国ルーツの子どもの寺子屋

(一社) リング・リンクくにたち

開催日：金曜日午後3時半～5時
場所：富士見台第一団地集会室
対象：外国ルーツの主に小学生

富士見台第一団地集会室



同じ場所で行っている
プラムジャムの学習風景

外国につながる親子が直面する課題

学校生活において

- ・親が日本の教育システムを知らない（例）入学式、上履き、雑巾、ナフキン、砂場
- ・文化の違い：母国で良しとされていることが日本ではよくないことになる
（例）大きな声・感情表現など

学習面において

- ・生活言語と学習言語の違い（中学校で顕在化）
友達同士の会話は全然問題ないが教科書の文章になると全く理解できない
- ・最大の課題は教科書の日本語 できるだけ早い時期からの学習支援が必要

外国ルーツの子どもの寺子屋のあゆみ

2013～4年頃 公民館の日本語ボランティア有志とわいがやに来ている学生たちが外国につながる子どもたちの学習支援を開始 →のちのLABO☆くにスタにつながる

2016年～ くにたち地域コラボとの協働自主事業で学習支援開始 対象：すべての子ども
2017年 「つちのこや」（リング・リンク）と「プラムジャム」との協働事業で10月に内閣府「子どもの未来応援基金」を得る

2018年～ 母親の要望で小学一年生の日本語学習支援開始
2019年 地域に外国につながる子どもたちが急増 総勢6か国9名の参加
「つちのこ学舎」は外国ルーツの子ども、「プラムジャム」は主に生活に課題を抱える子どもを対象とする

つちのこや学習風景



学習支援スタッフと



2020年～ 子どもたちが引っ越しや進学で減少

2021年 支援が必要な子どもたちは多いと思われるが情報が届かない

先生とのお別れ



勉強仲間の送別会（小学校の担任の先生も）



帰国の仲間を送る



気づかされたこと

- ・ 学習支援は早ければ早いほど効果が大きいと思われる
- ・ 外国ルーツという同じ背景を持った子どもたちは、お互いを一番分かり合え安心できる仲間として認識しているようだ 仲間をたくさん持つことは安心感につながり支えあう場所になれる

明るい展望

2021年8月より社会福祉協議会が主体となり、ボランティアを育てて外国ルーツの子どもたちの学習支援教室「ひまわり」を開始 子どもたちにとって楽しく勉強できる居場所となっている この活動がどんどん広がることを願っている